

わーいできた！ 日高小学校むかし遊びに歓声



飛んだ飛んだ！

日高小学校1年生が「むかしのあそびにしようせん」の時間で、今ではあまり見られない昔の子どもの遊びの遊びを体験する授業が2月1日に行われました。日高学区市民自治会からそれぞれの昔遊び経験者10名がゲストティーチャーとして遊びの指導を行いました。1年生67名の児童が5、6名を1班として、室内ではビー玉、あやとり、おはじき、体育館では羽根つき、こま

まわし、けん玉、西グラウンドではゴムひもとび、竹とんぼ飛ばし、タガ回し、缶ぼっくりを体験し、「うまくできた」「失敗した」と子どもたちの歓声があちこちで上がっていました。今のタガ回しは、桶のタガでなく自転車のリムを回す遊びで、子どもたちはうまく操作をしていました。ゲストティーチャーも「昔取った杵柄」とばかり、孫のような1年生との遊びの時間を懐かしそうに楽しんでいました。竹とんぼ飛ばしのゲストティーチャーの星完二さんは全員分の竹とんぼを手作りしプレゼントしてくれました。高く飛ばすことを覚えた1年生の弾んだ喜びの音が印象的でした。

あの人 この人

益子 芳江さん
小木津町
(65歳)



小木津山自然公園に魅せられて

今から約30年前、当時小学1年生の娘さんと小木津山自然公園に散歩に出かけたことが今に続く転機となりました。

公園内では野鳥観察グループが観察会を行っており、その様子に引き込まれた娘さんが、何かの啓示を受けたように「自分も野鳥の会に参加する」と宣言されたそうです。それからは、親子でこの

小木津山自然公園の自然に魅せられ、ほぼ毎日この公園に足を運んできました。娘さんと一緒に野鳥を観察するうちに鳥とつながる生き物たちにも興味があわき、自然観察や保護調査活動に魅せられていきました。その調査結果は彼女が属する「おぎつ山森の会」の調査報告書(日高交流センター内図書館に寄贈)にまとめられています。

そこには、自らが美術教師だった経歴を生かして描いたイラスト画も多数掲載されています。彼女の夢は、かつての里山のように生き物たちが共に暮らせる自然豊かな公園になることを願って、今の生き物たちの現状を誰にでも気軽に分かり易く後世に残すことだそう。自然公園の動植物のことを心底楽しそうに語られる様子に、NHK朝ドラの牧野万太郎と話しているような感銘を受けました。「おぎつ山森の会」は公園内で主に植物や鳥類の観察調査やそれに関わる保全活動をしている自主グループで、現在会員を募集中とのことでした。(田所 剛)

クリーンアップデー 学区内一斉に清掃活動

2月11日、学区内一斉にゴミ拾いなどの清掃活動を行いました。集められたごみは、自治会本部の環境部員が回収、分別して清掃センターへ搬入しました。



回収したごみを分別して清掃センターへ

ふるさと川

東連津川の清掃活動

東連津川をきれいにする会では、同日学区内のクリーンアップが終了後、会員60数名が、流域を4か所に分かれて今年度第4回目の清掃活動を行いました。9月の台風による大雨で、いつもより多くのゴミが流れ込んでおり、回収作業に汗を流しました。また上流域担当の堰には流木が引つかかかっており、苦勞して引き上げました。

「きれいにする会」では随時会員を募集しています。尚、河川を管理している茨城県高萩工事事務所では豪雨被害の大きかった常磐線より上流域の調査と整備

東連津

新年が地震と火事の大惨事。こんな年明けは人生初めてである。余りにも無情な事態に被災された方々の無念さや思いを言葉も無い。心からお見舞いと、お悔やみを申し上げます。この3月で2年の支部長役を終える。振り返ると本部および支部の方々、たくさん教えて頂きながらの2年、祭鑑賞など。昨春秋は友

安良宿西支部
大伍 優子支部長

日高市民自治会に 参加して思うこと

人と地層の講義を聴き、暮れには味噌づくりの初体験等なかなかユニークで楽しい一時だった。夏と冬のお祭りのお料理はいつも美味しく、地域の大人も子どもも楽しんでる。祭り以外の安心・安全のための支援や防災演習は、地域のつながりを大事にするとてもよい集団活動と改めて思う。どんなことも一朝一夕で成し得ない。この自治会の協力関係を今後も絶やすことなく永く続けていってほしい、いきたいと願っている。



川の中に入ってゴミの回収

ふるさとひたかマップ 30年ぶりにリニューアル

平成5年に、市民自治会内に組織された「日高マップの会」が作成した「ふるさと 日高マップ」が、30年を過ぎ、現況との相違がだいぶ目立ち、リニューアルすることにいたしました。マップは、表面が手描きの絵地図になって、裏面に日高の旧跡などの解説文が

編集後記

能登半島の地震の様子が伝わり、防災対策をどうしたらよいか心配にもなります。一面に身近な防災対策を紹介し、地震が起きたときに安心していられるように、少しでも役立つことを願う記事にしました。鳥追い祭りは今年もたくさんの子どもたちが集まり、にぎわった祭りの様子をお伝えしました。(増子)